

Light up! Brush up!

じた そんちよう あか
自他を尊重し、まわりを明るくする

しゅたいてき まな つづ じぶん
主体的に学び続け、自分をみがく



発行者 今村 貴文

第79回卒業証書授与式 39名が巣立つ

令和8年3月7日(土)、多くの来賓や保護者の皆様にご臨席いただき、第79回七城中学校卒業証書授与式を挙行了しました。39名の卒業生が入場すると、会場は凜とした空気に包まれました。

〈卒業証書授与〉

3年間、卒業生を担当した永畑先生は、あふれる思いを込めて一人ひとりの名前を呼びました。その呼名に、卒業生も負けないほどの力強い声で返事をし、その姿からは「健やかな成長」が感じられました。

副担任の西原先生は、校長に卒業証書を手渡す役を務められました。証書を受け取る卒業生に向けて先生の優しい眼差しは、「おめでとう。高校でもがんばれ。」という無言のエールのようなものでした。

堂々と証書を受け取り、ステージ上から家族へ証書を掲げて見せる卒業生。その立派に成長した姿を、保護者の皆様も温かい眼差しで見守っておられました。

〈在校生代表の言葉〉

在校生代表の石渕さん(生徒会長)は『送る言葉』として、学校行事や生徒会活動を通して感じた先輩方の頼もしさや感謝の気持ちを述べ、「先輩方の姿が私たちの道しるべです」と、伝統を受け継ぐ決意を力強く伝えました。

〈卒業生の『別れの言葉』〉

卒業生39名全員による構成詩『別れの言葉』では、中学校3年間の輝かしい思い出、在校生、来賓の皆様、先生方、そして家族への感謝の気持ちを、一言一言丁寧に伝えました。伝えたい相手の方へ体を向け、涙を流しながら「ありがとうございました」と叫ぶ姿に、こちら胸が熱くなりました。一人ひとりの表情を見ると堪えていた涙があふれ、本当に別れが惜しく感じられました。

構成詩の後は、RADWIMPSの「正解」の合唱。歌詞の世界に引き込まれ、共に過ごした日々が鮮明によみがえりました。今まさに歌っている姿も、心に焼き付けたいと思えるものでした。

「よーい、はじめ!」合唱が終わると、会場には大きく温かい拍手が響き渡りました。

〈校歌斉唱〉

卒業生とともに歌う最後の校歌。副担任で音楽担当の出田先生は、校歌や「正解」の練習を熱心に指導されており、「卒業式を通して、生徒たちを成長させたい」という思いが込められていました。生徒たちもよく頑張っていて歌いましたが、大人の皆様の校歌斉唱は、生徒の手本となる素晴らしいものでした。

〈退場〉

保護者代表挨拶では、学年委員長の古川様より過分なお言葉を頂戴しました。退場では、卒業生39名全員が保護者席前に整列し、「ありがとうございました」と式中一番大きな声で笑顔の感謝を届けました。家族の絆の強さが感じられる感動的な場面でした。

卒業生の皆さん(保護者の皆様)、ご卒業おめでとうございます。高校という新たなステージでの皆さんの活躍を、心よりお祈りしています。1・2年生には、3年生の七城中への思いをしっかりと受け継ぎ、そこに自分たちの思いや良さを加え、よりよい七城中をつくってくれることを期待しています。

最後に、地域の皆様には、卒業生を温かく見守っていただきましたことに厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。(七城中職員一同)



七城中
ホームページ
2次元コード

